

PARIS



左 プティックでは商品の購入も。  
 右上 プチ・シャン(小さな畑の意味) 通りという立地も、自然が大切と考えるデクレオールらしい。  
 右下 シンプルな施術室に、花の香りが漂う。すべてハンド・ケアというこだわり。

■ L'Institut Decléor  
 36, rue des Petits Champs  
 75002 Paris  
 ☎ +33(0)1.44.50.53.10  
 営業10:00(月14:00)~19:30  
 (土~19:00) 日・祝



デクレオール初のエステサロンがついにオープン!

ハイグレードなエッセンシャル・オイルで多くのファンをもつデクレオールが、ついに待望のエステサロン、アンスティテュート・デクレオールをパリ2区にオープン。初のサロンというから意外だ。ブランド・カラーのイエローが際立つ100㎡のスペースには、プティックと4室のキャビンが設置。うち2室は自然光が差し込む心地よい空間。おすすめは、熟練のエステティシャンによるシグネチャー・トリートメント、「アロマプラスティ」(75分 €74、90分 €85)。麻の実、麦の芽、ひまわりの種による100%ナチュラルなフェイシャル・ケアで、肌がぐんぐん蘇ってくるのを実感!

ボン・マルシェ160周年記念! 限定商品が続々登場

世界初の百貨店として19世紀に誕生したボン・マルシェ。今年、創業160周年を祝い、「ニナ リッチ」「ソニア リキエル」からは服、「バレンシアガ」からはバッグなど、200以上のブランドから食品館グラン・エписリーまでが特別限定商品を製作し、9~12月まで販売する。同時に、アーカイブの資料を展示し、ボン・マルシェの歴史を追うエキスポも開催。お見逃しなく。



■ Bon Marché Rive Gauche  
 24, rue de Sèvres 75007 Paris  
 ☎ +33(0)1.44.39.80.00  
 営業10:00~20:00(木・金~21:00)  
 日・祝 www.iebonmarche.com/

右上 かつては見事な大階段が1階フロアにあった。当時としては画期的な店員の英語教育なども行った。左上 ダイアンフォンファステンバーグ€380  
 左下 ピエール アルディ€800

おいしくてヘルシーな自然保護公園の食材店

トレンド地区として急浮上しているパリ10区に、公害のないフランス内14カ所の自然保護公園で生産された食品のみを集めたユニークなエписリー(食材店)が登場。ハーブの香りのニヨンのオリーブ・オイル、濃厚なコルシカの雌羊のチーズや中世から伝わるアペリティブも。店内でイートインも可能。



左 リュベロン自然公園産の、消化促進効果をもつ植物ヤナギハッカのビネガー。5cl €4.5 37.5cl €15  
 上 テリーヌ、タルティーヌをランチに。

■ Boutique des Saveurs  
 61, rue du Faubourg Saint Denis 75010 Paris ☎ +33(0)1.47.70.64.69.  
 営業11:00(月14:00、土10:00)~20:30  
 日9:00~14:00

花とアートが美のコラボ、新コンセプトのギャラリー誕生

フローリスト、バスカル・ミュテルがコンテンポラリー・アートのギャラリー、ギャラリー・デュカン・ウルドゥカンとコラボして、7区に花とアートを展示販売するプティック兼ギャラリー、フラワーズ・ギャラリーをオープン。柿落としのヴェルニサーージュでは、メキシコ生まれのアーティスト、アリシア・バズの作品を展示。ポートレートと風景を組み合わせたファンタジックな絵画が花々と呼応する。地下ではフラワー・アレンジメント教室も開催。



1階のプティックに花とアートを展示。



■ Flowers Gallery  
 7, place de Mexico 75116 Paris ☎ +33(0)1.47.04.67.86  
 営業8:30~20:00 日9:00~13:00 不定休  
 www.flowersgallery.fr  
 左 花が一面に咲いたようなアリシア・バズの作品。